

# 図書館だより

No.76 July, 2010



## 目次

|                 |                       |         |        |   |
|-----------------|-----------------------|---------|--------|---|
| 巻頭エッセイ          | 自由と規律                 | 校長      | 上田 孝   | 1 |
| 読書のすすめ          | 独創を考えてみる              | 制御情報工学科 | 熊丸 憲男  | 2 |
|                 | ミシガン大学図書館事情           | 材料工学科   | 山本 郁   | 3 |
|                 | キース・デブリン著「数学で犯罪を解決する」 | 一般理科    | 菰田 智恵子 | 4 |
| 私の一冊            |                       | 各学科学学生  | 6名     | 5 |
| リレー連載「古典への誘い」   | 麻雀放浪記                 | 機械工学科   | 田中 大   | 7 |
| 平成21年度後期図書館利用状況 |                       |         |        | 8 |
| Information     | 編集後記                  |         |        | 9 |

# 巻頭エッセイ

## 自由と規律



校長 上田 孝

「自由と規律」…英国のパブリック・スクールの教育や生活について書かれた岩波新書の書名である。

パブリック・スクールは、その名と異なり私立の学校で、日本の中学と高校を合わせたものに相当する。全員寄宿（寮）制で、英国の指導的階層の子供たちに教育を行い、卒業生の大半は、有名なオックスフォード大学やケンブリッジ大学に進む。

これまでに何度も舞台化や映画化された、パブリック・スクールで教育に一生を捧げた1人の男性教師の半生を描いた心温まるイギリスの名作文学『チップス先生さようなら』でも知られている。

本書の著者である池田 潔氏は、大正時代の後半にパブリック・スクールの一つであるリース・スクールに留学、卒業後にケンブリッジ大学に進学・卒業し、帰国後は、慶應義塾大学で長年にわたり教鞭をとられた英文学者である。

本書は自らの体験に基づき、パブリック・スクールの制度、寮生活、教職員、学課、スポーツ等について、英国人気質に触れつつ、楽しい読み物として書かれている。一昨年の日本経済新聞にも書評が掲載されるなど、90年の時の隔たりを全く感じさせず、今日でも広く読まれている名著であり、その一部分を今年4月に新入生合宿の校長講話で紹介した。

池田氏は、オックスフォード大学やケンブリッジ大学における「紳士道の修業」という言葉に要約される、自由で衣食住ともに豊かな生活の基礎には、精神と肉体の鍛錬を教育の主眼として、制限が多く物質的にも厳しいパブリック・スクールでの生活経験があることを看過できないと言う。

その厳しさたるや、例えば、一学期（約3か月）の間、全休日は2回だけで、その休日も校門の外に出るのは博物館か川や郊外へのピクニックに限られ、町中の劇場や映画館は立入禁止。規律違反には厳重な罰則。寮は20人程度の大部屋で、毛布のみで掛布団は無く、教室・寮に暖房設備は無い。食事は、朝食、昼食、ティータイムとともに非常に質素な中身で、夜食は無く、夜ベッドに入ると空腹で眠れない。

平日は、朝食後、午前中は学課、昼食後はスポーツで、春はクリケットかテニス、雨天時はクロスカントリー、秋

はラグビー、冬はホッケーなど、校医が認めない限り全学生が参加。スポーツの後も学課の自習、チャペルでの夜の礼拝等があり、8時半に寮に帰り点呼を受ける規則正しい生活の繰り返し。

日曜は宗教上の安息日で学課の勉強と運動は厳禁。朝は日曜礼拝、午後は聖書講義、夕方は特別礼拝があり、夜は全学生が講堂で家に手紙を書かされる。校外に出られないため、学業に関係ない書物を読んだり、校内を散歩したり退屈な時間を過ごす。

自由を尊重する英国とは一見相容れないように思われる内容だが、このような生活を通じて、「自由は規律を伴い、自由を保障するものが勇気であること」（私情を捨てて正しい判断を下す勇気、不利な判断を下されてもメンツに拘ることなくこれに服する勇気など）を、学生たちは知ると池田氏は指摘する。

パブリック・スクールでは、個人の自由は最高度に尊重されつつ、学生は規律というものに黙々と服従する。正しい主張は常に尊重され、如何なる理由でも腕力を振るうことは許されない。学課の試験は頻繁に行われるが不正行為は全くない。

太平洋戦争後に我が国に付与された欧米風の自由と民主主義は、既に65年経過しているものの、付け焼刃でない民主主義を確立するためには、この点を十分に理解することが必要だと思う。

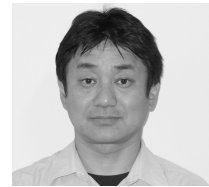
「ノブレス・オブリージュ」（又は「ノーブレス・オブリージュ」（仏）noblesse oblige）という言葉を知ることがあるだろうか？単語の意味は「貴族の義務」或いは「高貴なる義務」であるが、辞書には「身分の高い者はそれに応じて果たさねばならぬ社会的責任と義務があるという、欧米社会における基本的な道徳観」とある。これは、現代社会の企業の社会的責任（CSR）遂行に通じるとも言われる。

本書でも、パブリック・スクールの学生に見られるノブレス・オブリージュに係る記述が散見される。

果たして久留米高専生の品格は、英国パブリック・スクールの学生のノブレス・オブリージュに優っているや否や。

## 特集 読書のすすめ

# 独創を考えてみる



制御情報工学科 熊丸 憲男

独創や独創的とは、最近良く耳にする言葉です。言葉の意味としては、他の人が考えたことや作ったことの無いものを指す言葉、または、それを表す形容詞なのですが、実際はそうではありません。独創や独創的と呼ばれるには、周りの人が新しいと認めて、かつ、良いものでなければならぬのです。

例えば、独創的なラーメンを作ることを考えて見ましょう。まず、ラーメンの麺を味噌汁に入れてみます。これは、本人にとっては初めての、独創的な試みかもしれませんが、他人にはどうでしょうか？たぶん「味噌ラーメン？」という感想を持つでしょう。つまり、他の人にとっては新しくないので、独創的ではないということです。

では、思い切ってスープを温かいファンタ、しかもオレンジとグレープのミックスにしてみます。隠し味は八丁味噌、具はコーヒー豆と鰹の開きをのせてみましょう。これまでに誰も作ったことが無いラーメンが完成しました。もちろん、他の人も作ったことがありません。しかし、誰も食べたいとは思わないでしょう。少なくとも私は嫌です。つまり、新しいものではあるが、良いものではないので独創的ではないということです。

それじゃあ、食べられる範囲ということで、ラーメンの麺をうどんの麺にして、スープをかつおベースのしょうゆ味、具は生卵にしてみましょうか。確かに、そういうラーメンはこれまでにありませんでしたし、食べればおいしいと思います。しかし、このラーメンを食べた人の多くは、「月見うどん？」という感想をもつと思います。もはや、ラーメンでもなくなってしまいました。このように、ラーメン一つをとっても、独創的なものを作るのは非常に難しいことです。

同様のことは、工学の分野でも頻繁に起こることです。研究が独創であることを重要視するものはもちろん、ロボットコンテストなども評価を行なう際は、独創を重要視しています。もちろん、競技の形式をとっていますので試合の勝ち負けも評価のポイントになりますが、最も栄えある賞である大賞は、独創が重要な評価ポイントになります。当然、参加者もそれを狙うのですが、これま

た非常に難しいことです。

ロボットコンテストで、どのようなロボットを作るかを考える際に、不慣れな人なら数個、慣れた人なら数十個のアイデアが出ます。しかし、問題は、ここからです。考えた数十個、または数個のアイデアのなかで、どれが独創的なアイデアなのでしょうか？ 独創的であるには他と違う必要がありますが、どこがどう違えばいいのでしょうか？ しかも、単に違うだけでは意味が無く、それが良いものである必要があります。ロボットを作るには時間がかかるので何度も作り直すわけにはいきませんから、選択を間違えないようにしないとけません。もちろん、これは独創的なアイデアを考えていた場合で、何十個もアイデアを出したのに、全てが独創的ではなかったという場合だって考えられます。

独創的なアイデアが出なかった場合は仕方が無いとして、そうでない場合は、どのようにして独創的なアイデアを選ばいいのでしょうか？ その方法とは、逆説的ではありますが、王道を知ることにあります。ロボットコンテストであれば、工学的な王道を行くロボットがあるはずで、例えば、効率的に得点ができる、頑丈、操作し易いなどの基準から総合的に考えて、最も良いものが王道を行くロボットとなります。王道を行くロボットは、優れたロボットです。しかし、独創的なロボットではありません。総合力では劣っても、ある一部分では優れている。それが独創だと思います。

このように王道を知ることが、独創を行う上で非常に重要だと思いますので、私からお薦めの一冊です。三田紀房著「個性を捨てろ！型にはまれ！（だいわ文庫）」。この手の本は非常に小難しい本が多いのですが、漫画家書いているという点で、非常に読み易い表現になっています。その分、学術的な視点などは薄いのですが、入門書としてはお薦めの一冊なので、ぜひ読んでください。

## 特集 読書のすすめ

# ミシガン大学図書館事情



材料工学科 山本 郁

昨年の9月末までアメリカ・ミシガン州にある University of Michigan (ミシガン大学) に在外研究員として1年間、留学しました。今回は、ミシガン大学の図書館事情などについて、書いていこうと思います。

ミシガン大学は19学部あり、学生数は約57,000名です。キャンパスは、Ann Arbor (アナーバー) 市内に分散しており、それぞれの学部は図書館を持っていますので、少なくとも19の図書館があります。その蔵書数は、何と820万冊以上だそうです。図書館があちこちに点在していて、その内の2つの図書館を紹介します。

私が一番利用していた図書館は Art, Architecture & Engineering Library (工学部図書館) です。地下1階から3階の建物で、工学系の書籍、専門雑誌はほとんどここへ行けば探し出すことができます。会議室、学習室やDVDやCDを聴ける視聴覚室もあり、必要な文献は、久留米高専と同様に電子ジャーナルでダウンロードできます。また、キャンパス内はワイヤレスのインターネットにアクセスできるため、自分のパソコンで蔵書検索をしながら探し出す事もできます。この図書館は基本的に24時間開館しており、真夜中に行っても、学生が本を探したり、非常に熱心に勉学に取り組んでいました。また、日本では考えられないことに、図書館での飲食が可能でした。図書館にはカフェがあり、そこでコーヒーを購入して、飲みながらレポートを書いたり、読書できます。私も図書館へ行き、コーヒーを飲みながら、日本の情報を得るのが楽しみでした。

もう一つの図書館は、Law Library (法学部図書館) です(写真1)。こちらは、町の中心部にある図書館なのですが、古い建物で1931年に建築されました。この図書館のドアを開けると、ちょっと薄暗く、非常に厳かな雰囲気、映画のハリーポッターに出てくる食堂のような造りです。法学部が開設されて150年経ち、その時代の本から最新の本まで揃っており、日本の法律に関する本(日本語)もあるそうです。

最後に、この大学の講義で使われている本の写真を示します(写真2)。日本の教科書と比較して、大きいことが分かります。非常に重く、学生達は、これをバ

ックパックに何冊も入れて通学しています。大学の購買部では、新品の本だけでなく、学生が使い終わった本を中古として隣に並べてあります。また、新学期になると、必要な教科書を学生同士で交換し合う会が開催されました。文化や習慣が違うかもしれませんが、私としては、今でも学生時代の教科書を読み返すこともあり大事にしているので、何だかもったいないなあと思いました。



写真1 法学部図書館

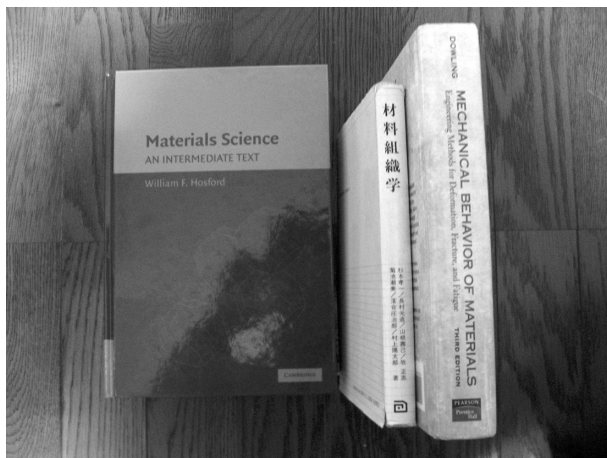
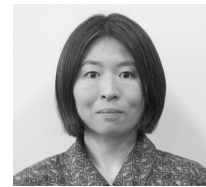


写真2 アメリカと日本の教科書

## 特集 読書のすすめ

### キース・デブリン著「数学で犯罪を解決する」



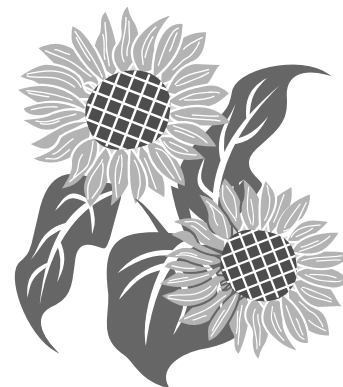
一般理科 菰田 智恵子

本のタイトルに「数学」という文字が入っているのを見た段階で、小難しそうな本だと感じた諸君も多々いることだろう。しかし、実は、この本、アメリカで大人気のテレビドラマ『NUMB3RS（ナンバーズ）—天才数学者の事件ファイル』の解説本である。このドラマを知らない読者のために、簡単に紹介しておこう。

FBI特別捜査官である兄ドンと天才数学者の弟チャーリーがタッグを組み、数々の難事件を最先端の数学理論を駆使して解決していくドラマである。1話完結方式をとっており、1話ごとに、最先端の数学理論がバックボーンとして存在する。現在、第5シーズンまで放送されている。このことから大ヒットドラマであることがうかがえよう。アメリカの大ヒットドラマとしては、比較的最近では『24 -TWENTY FOUR（トゥエンティフォー）』（第8シーズンまで放送）や『ターミネーター』（映画とドラマの両方が制作されている）などが有名どころであろう。さらに、古くさかのぼれば、『スタートレック』が挙げられよう。これらアメリカの大ヒットドラマに共通していることは、スリルとサスペンスや痛快アクションがあり、かつ、科学的（SF的）なものがふんだんに満載されている点であろう。つまり、人間の感性（＝痛快アクション）と知性（＝科学）の両方をくすぐる点に人気の秘密があるのではなかろうか。『NUMB3RS（ナンバーズ）』もご多聞にもれず、はらはらどきどき、息をつかせぬ展開で最後まで視聴者を釘付けにする。最高のエンターテインメント作品として仕上がっており、スパイス（知的好奇心）として最先端の数学が散りばめられているのである。ところで、「最先端の数学と現代の社会にどんなつながりがあるのか」と疑問に思う読者もいるかもしれない。いまや、我々の生活の中には最先端の数学が巣を張り巡らしているといっても過言ではない。たとえば、皆さんの中には、インターネットで買い物をした人がいるかもしれない。そのとき、銀行口座やクレジットカード番号は暗号化されて送信されている。暗号理論は最先端の数学理論である。ちなみに、この暗号理論には米国で100万ドル（大雑把に1ドル=100円と

して換算すると1億円）の懸賞金がかけている。暗号理論が破られてしまうとインターネット社会が破壊されてしまうのだ。このへんのことがドラマでも扱われているわけであるが、こんな、私の面白くもなんともない文章を読むより、第1シーズンの第6話「少女誘拐事件」を見れば、暗号理論はバッチリ（一目瞭然）だ。まずは、ドラマを楽しんで欲しい。そして、数学が現代社会を巣食っている様を実感して欲しい。その後で、解説本である本連載のタイトルであるキース・デブリン著『数学で犯罪を解決する』を読んでいただければ幸いである。

さて、先ほど数学の問題に100万ドルの懸賞金がかけているという話をしたが、これに関連して、マーシャ・ガッセン著『完全なる証明—100万ドルを拒否した天才数学者』もお薦めしたい。NHKスペシャルでも関連番組が放送されており、DVDが図書館にも置いてある。タイトルは『DVD ポアンカレ予想・100年の格闘—数学者はキノコ狩りの夢を見る』である。また、この解説本として『NHKスペシャル 100年の難問はなぜ解けたのか—天才数学者の光と影』があり、これも図書館にあるので、手にとって見て欲しい。内容は、一口で言えば、「地球は丸い（球形）が、宇宙はどんな形をしているか？」を問うているものだ。さらに、先の暗号理論に関連した番組もNHKスペシャルで放送されており、これも『DVD リーマン予想・天才たちの150年の闘い—素数の魔力に囚われた人々』として図書館にあるのでAVコーナーで利用することができる。



# 私の一冊

サミュエル・スマイルズ 著 竹内 均 訳  
自助論

三笠書房

「天は自ら助くる者を助く」という格言から始まるこの書は、かつて明治の世に「西国立志編」という名で訳著された。坂の上の雲の如き発展を目指す若者たちは「学問のすすめ」と並べてこれを読んだという。また、産業革命期の英民衆の思考は、この書にあるような、勤勉であり情熱をもった、自助の精神を体現したものであった。かつて英国のサッチャー首相は、先進国の成熟病として「英国病」が叫ばれていた時分、この書を掲げ「自助の精神を取り戻そう」と呼びかけた。社会保障問題等に揺れ、政治経済その他に揺れる現代日本。成熟病にて沈む前に、この書によって再び自助の精神、そして使命感の復権を望むものである。

(機械工学科5年 増山 雄亮)

【図書館所蔵情報】 ◇購入予定



西堀 栄三郎 著  
石橋を叩けば渡れない。

生産性出版

何か新しいことをするときには、まずそれを、やるかやらないかを決めることが必要になってくる。その場合、まず事前にあらゆる角度からよく調査し、それからやるかやらないかを決めることがある。しかし、新しいことにはリスクがあるのは当然だ。こまごまと調査し、石橋を完全に叩いてから、渡るか渡らないか決心しようなんて思っていたら、おそらく永久に渡ることはならないだろう。新しいことをやる決心は「知らぬが仏」がよいのだ。こういった、西堀先生流の創造的な生き方のお話がこの本には書かれています。私の感心するところも多くありました。皆さんもぜひ一度読んでみてください。

(電気電子工学科3年 山崎 裕太)

【図書館所蔵情報】 O49||N||2



伊坂 幸太郎 著  
オーデュボンの祈り

新潮社

最近あまり本なんて読んでないんです。という訳で昔読んだ伊坂幸太郎の「オーデュボンの祈り」について紹介させていただきます。今やベストセラー作家となった著者のデビュー作である本書ですが、一応ミステリーです。あらすじを書いたら「コンビニ強盗に失敗し逃走した主人公は気付けば「未来が見える」カカシのいる島にいた。しかしカカシは次の日殺されてしまう。未来を見れるはずのカカシは何故自らの死を防げなかったのか?」。著者の魅力でもある軽快な文章と散りばめられた伏線が最後に回収されていく様は見事としか言いようがありません。ミステリーでありながら重くなく普段本を読まない人にもお薦めできます。

(制御情報工学科5年 片岡 駿)

【図書館所蔵情報】 ◇購入予定



三浦 綾子 著  
氷点

角川文庫

私がこの小説と出会ったのは中学2年生の時。ドラマをみて、原作を読みたいと思ったのがきっかけです。作者である三浦さんはキリスト教を信仰していたため、『氷点』はキリスト教の概念である「原罪」が重要なテーマとなっており、人間にとって「原罪」とは何かということを考えさせられる小説です。3歳になった娘を殺され、代わりに殺人犯の娘とされる陽子を養女に迎えた辻口啓造と、そうとは知らず陽子に温かく接する辻口の妻・夏枝と息子の徹。陽子を主人公として、辻口家を舞台に物語は進んでいきます。小説の内容に衝撃を受けた部分が多く、私にとっては今でも心に残る作品です。

(生物応用化学科3年 山下 晃代)

【図書館所蔵情報】 913||M||47



市川 拓司 著  
いま、会いにゆきます

小学館

前にドラマや映画になったことがあるので知っている人も多いと思いますが、私のオススメの一冊はこれです。最後まで現実なのか、夢なのか少し曖昧で不思議なところがこの小説の魅力だと思います。また、登場人物が極端に少なくわかりやすい構成になっているので読みやすいし無駄な人物が出て来ないから想像するのに容易です。この作品は死から始まりますが命の大切さというよりは、小さな愛とかそんなものを伝えてくれる気がします。多分当たり前の愛について書かれているけれど、最近はそんな当たり前さえも無くなっているような悲しい事件が多いからこそ今この小説を読んで欲しいと思います。

(材料工学科4年 柳 有紀)

【図書館所蔵情報】 ◇購入予定



内藤 淳 著  
進化倫理学入門「利己的」なのが結局、正しい 光文社

嘘についてはいけない。こうした道徳や正義、善悪といったものの根拠は何なのであろうか。従来の倫理学や法哲学の議論ではなかなか解決しないこの難題に対して、進化倫理学は「人間行動進化学」という科学的領域の知見を活用しながらユニークな視点で切り込んでいる。誰もが己の利益のために損得勘定で行動している。こう聞くと「利己的」な考えを持つ人間がそうだろうと思うかもしれない。しかし、本書では人間が損得勘定で動いていることが具体例を示しながら解説されており、実にわかりやすい内容である。他人のための行動も実は己の利益のための行動である。うすうすそう感じていたあなたにはスッキリする一冊です。

(専攻科物質工学専攻2年 古賀 大将)

【図書館所蔵情報】 ◇購入予定



# リレー連載「古典への誘い」

## 麻雀放浪記



機械工学科 田中 大

空襲によって焼け野原になった東京、その終戦直後の上野公園の、浮浪者がたむろするテントで行われていたチンチロリンばくち、物語はそこから始まる。坊や哲、ドサ健、上州虎、女衛の達、出目徳などのピカレスク（悪漢）達が、ばくちという世界で命を賭けて生き抜いていく。年配の方の中にも、若い頃に夢中になって読まれた方が多いのではないだろうか。

それにしても、第二次大戦中に子供時代を過ごした小説家の作品は、多感な時期に死と隣り合わせに生きてきたという背景があるためか、圧倒的な存在感を持っている。野坂昭如（「火垂るの墓」など）、曾野綾子（「神の汚れた手」など）、そして、表題の「麻雀放浪記」を残した阿佐田哲也は、その代表的な作家であると思う。

私がこの小説と出会ったのは、大学院の博士課程に在学中の時である。研究室に置いてあった文庫本の棚から、たまたまこの本を見つけ、その面白さにシリーズ4冊を一気に読んだ。麻雀というものが題材になっているため、ただのばくち小説だと最初は思っていたのだが、とんでもない、麻雀は小説のただの材料にしか過ぎず、戦後という混沌とした時代を、徒手空拳、自分の身一つで生き抜いていく男達の人生がぎっしりと凝縮されていた。

私がこの小説を読んでいるのを見た研究室の先生が、「阿佐田哲也は天才だよ。僕も若い頃にこの小説にずいぶんはまったよ。」と言われ、二人でしばし阿佐田哲也について語り合ったのが今では懐かしい思い出である。

元軍人の父のもとで育った坊や哲、親も身寄りもないが上野の街を肩で風切るように生きるドサ健、古くからの生粋のばくち打ちである出目徳、女衛を本職とする達、戦争で片腕をなくした上州虎。アウトローの男達は、時には味方、時には敵になり、瞬間瞬間を生きしのいでいくために、ばくちの世界で死力を尽くしていく。女性の気持ちはよく分からないが、男なら、何者にもしばられず、この世界を自分の身一つで生き抜いていきたい、という思いを、一度は必ず抱くので

はないだろうか。そんな生き方しかできない男達である。

阿佐田哲也は小説の中で言う。ばくち打ちというのは、本当はせこくて格好の悪い男だ。だが、その通りに書いたのでは小説にも何もならない、と。小説の中の男達は、ばくちという何の役にも立たないことに死力を尽くして挑んでいる自分に、半ばあきれ、それでも命を削り、最後には一人、また一人と闘いの中で命を落としていく。その中に、アウトローの人生の喜びと哀しみが絶妙に調和されている。一見、低俗であるばくちの世界を題材にしながらも、この小説が多くの人を惹きつける文学作品へと昇華した理由であろう。

麻雀放浪記は、1984年に映画化され、また最近では、1997年から2004年までの間に、「哲也一雀聖と呼ばれた男」として少年マガジンで漫画化もされている。私は漫画の方のみをちらっと見たことがあるが、かなり内容も異なり、原作の面白さを十分に表現できているとは思えなかった。もしも、映画や漫画でしか本作品を見たことのない方がいれば、ぜひ、小説の「麻雀放浪記」を読まれることをお勧めしたい。麻雀のルールが分からなくても、十分に楽しめるように工夫されている。

「いい勝負だったな、おっさん——」  
と健がいった。

「俺たちも、もうあんな博打は二度とできねえかもしれねえや。おっさんのことはずっと忘れねえぜ」  
達も進み出ていった。

「おっさん、俺もおっさんみてえなパイニンになって、おっさんみてえに死ぬよ」

「おっさん——」と私もいったが、あとが言葉にならなかった。

私は、自分の人なつこさに又驚いた。出目徳のみならず、健にも、達にも、精一杯の友情を抱いた。この、仲間のような、敵のような男たちに。

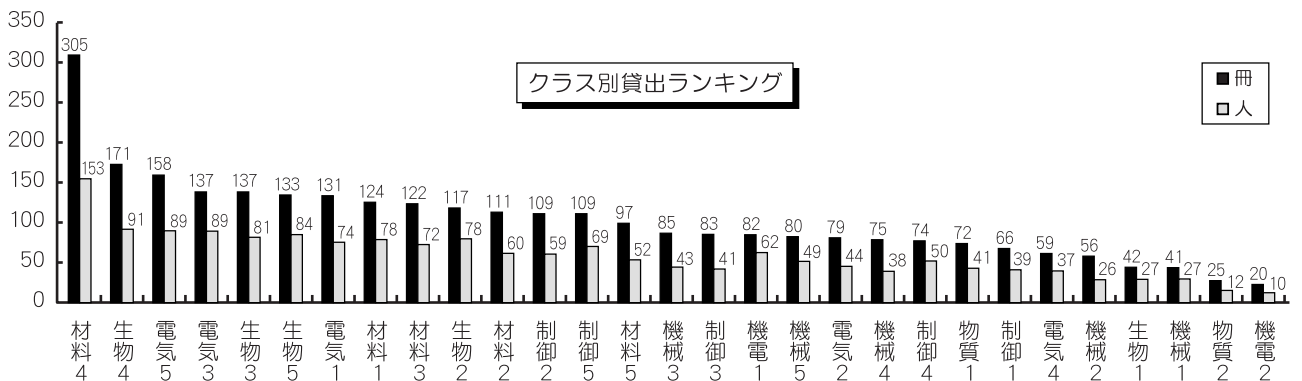
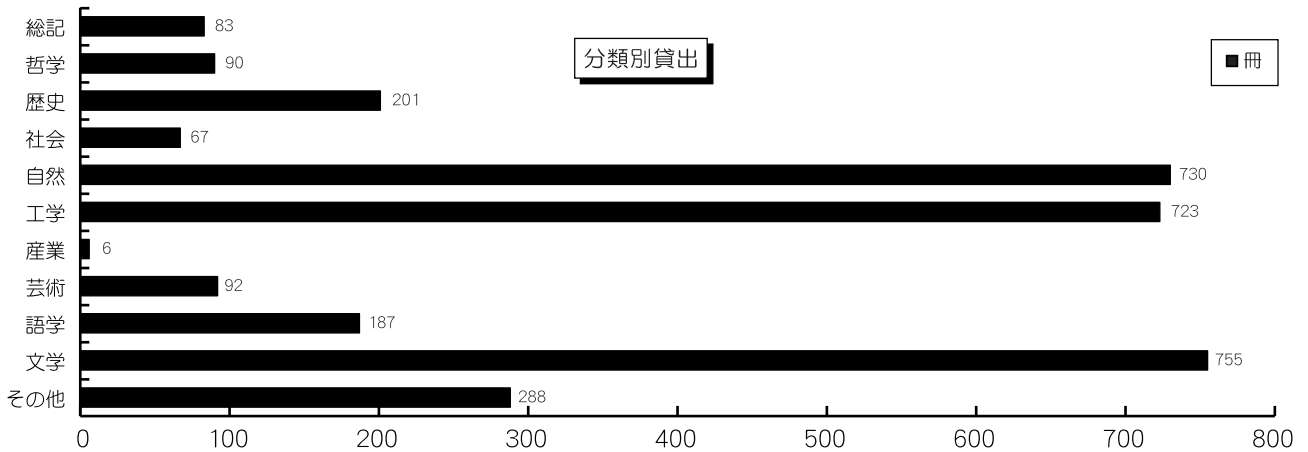
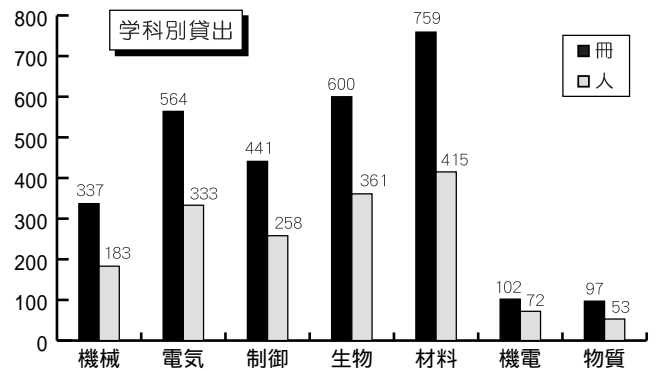
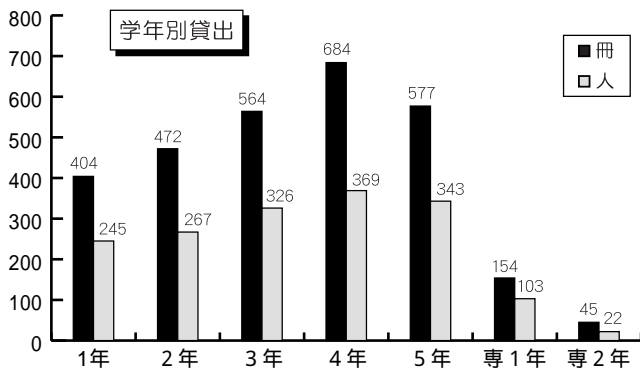
帰り道は私が自転車をこぎ、健と達が幌の中におさまった。上野駅で輪タクを返すと、私たちは又下車坂に向かった。勝負の残りをやるために——。



# 平成21年度後期 図書館利用状況

## ◆開館日数及び入館者数

| 月  | 開館日数 | 入館者数   |       |       |        | 一般利用者数<br>(内数) | 一日平均<br>入館者数<br>(四捨五入) | 開館時間            |
|----|------|--------|-------|-------|--------|----------------|------------------------|-----------------|
|    |      | 平日     |       | 土曜日   | 合計     |                |                        |                 |
|    |      | 時間内    | 時間外   |       |        |                |                        |                 |
| 10 | 26   | 2,403  | 357   | 161   | 2,921  | 27             | 112                    | ※平日(時間内)9時～17時  |
| 11 | 23   | 2,226  | 647   | 232   | 3,105  | 15             | 135                    | ※平日(時間外)17時～20時 |
| 12 | 21   | 2,465  | 584   | 117   | 3,166  | 22             | 151                    | ※土曜日 9時～17時     |
| 1  | 22   | 2,311  | 630   | 350   | 3,291  | 26             | 150                    | ※冬季及び学年末休業期間    |
| 2  | 23   | 3,097  | 705   | 266   | 4,068  | 25             | 177                    | 9時～17時          |
| 3  | 24   | 1,571  | 119   | 52    | 1,742  | 23             | 73                     |                 |
| 合計 | 139  | 14,073 | 3,042 | 1,178 | 18,293 | 138            | 132                    |                 |



# Information

下記のとおりお知らせいたします。開館時間の変更及び臨時閉館にはご注意ください。



## ◆特別(長期)貸出について

夏季休業期間中の特別(長期)貸出を下記のとおり行います。

- ・貸出期間：7月12日(月)から8月27日(金)まで
- ・返却期日：9月6日(月)
- ・貸出冊数：5冊以内

(一般利用者及び教職員は通常貸出です。)

## ◆開館時間の変更及び休館日について

夏季休業期間中は、下記のとおりです。

- ・月曜日～金曜日は、9時から17時まで開館
- ・土、日曜及び8月13日(金)は休館



## ◆◆図書館からのお願い◆◆

**図書返却日は厳守**      **飲食物の持込禁止**  
**携帯電話は使用禁止**      **騒がしい行為・会話は禁止**

## 《編集後記》

今号から編集後記を担当させていただきます。制御科の中野です。宜しく申し上げます。皆さんより一足先に、全原稿を読むことのできる喜びを感じつつ、原稿を読むにつれ、私も何かの利いた本を紹介せねばと焦思してしまっております。そういう訳で、編集後記なのですが、このコーナーでも本の紹介をさせてください。紹介するのは2010年の本屋大賞作品、冲方丁(著)「天地明察」です。

このお話は、江戸時代に行われた改暦事業に貢献した主人公の半生を描いたものです。暦、つまり、月齢などを予測する算法の修正には、数学や天文学などの学問と技術の粋を集めなければなりません。お話の要旨を整理すると、暦(天と地の理)を明察させる(正解を言い当てる)ための苦勞と成功の話といえます。勿論、主人公の成長

や、人間模様などを楽しめる作品なのですが、ちょっとだけ数学や測位技術、天体運行などの背景知識や好奇心を持って読むとより一層面白くなる作品だと思います。またこの作品は、現代技術の素晴らしさを再認させ、技術や学問への興味を沸かせる側面もあると感じました。そういった意味で、本校の学生さんにピッタリかと思いい紹介するに至った次第です。お薦めです。

さて、来週から夏休みです。「夏休みをどのように使うべきなのか」…難しい命題ですね。そんな時には、この図書館だよりで薦められている書籍を読んではいかがでしょうか? この命題を「明察」させるか「誤謬」とするか…私は、良い本と出会うことが「夏休み明察」の要となると考えます。是非、読書を通して自身の「明察」を見つけましょう。ご武運を!

(図書主幹 中野 明)

発行日：平成22年7月12日

発行・編集：久留米工業高等専門学校図書館 Tel：0942-35-9306 Fax：0942-35-9206  
〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号 E-mail：L-staff.SAD@ON.kurume-nct.ac.jp